

○ 主な所見（素案）

東京都公立大学法人は、第四期中期計画の初年度である令和5年度において、新たに柱に据えた「社会との価値共創」をはじめとする幅広い事業を展開し、その多くで評価指標の達成に向けて着実に取組を進めており、順調な中期計画の進捗状況にある。

○ 優れた点・特色ある点

【東京都立大学】

日野キャンパスに新設した「TMU Innovation Hub」において、インキュベーションルームの入居者等に対して専門家による起業に関する相談等を実施するとともに、産学公連携研究も開始しており、多摩地域のイノベーション拠点としての発展が期待される。

【東京都立産業技術大学院大学】

文部科学省の補助金を活用して開講した正規課程外のリカレント教育プログラムに定員の8倍を上回る応募があった。選考の結果、受講できなかった応募者等を対象としたオンラインによる部分受講プログラムを実施するなど、社会のニーズに応えるリカレント教育を行っている。

【東京都立産業技術高等専門学校】

スタートアップ教育支援プログラム「地動計画」を令和5年度に試行し、先輩起業家や起業支援に実績のあるNPO法人の協力を得ることで、学生のスタートアップへの関心を高めるとともに、学年横断、キャンパス合同の取組により、学生間の交流の活性化も図っている。

【法人事務組織】

東京都公立大学法人 DEI 推進宣言、DEI 推進基本方針及び3カ年の DEI 推進基本計画を策定し、令和6年度から、この計画に基づき、教職員の意識改革を促進するための研修や、参加しやすいワークショップ等を実施することとしている。

○ 総括コメント（素案）

東京都公立大学法人（以下「法人」という。）は、第四期中期計画の初年度である令和5年度において、新たに柱に据えた「社会との価値共創」をはじめとする幅広い事業を展開し、その多くで評価指標の達成に向けて着実に取組を進めており、順調な中期計画の進捗状況にある。

法人の設置する東京都立大学（以下「都立大」という。）、東京都立産業技術大学院大学（以

下「産技大」という。)及び東京都立産業技術高等専門学校(以下「産技高専」という。)は、加速する社会の変容を更なる飛躍のチャンスと捉え、それぞれの特色や個性を生かして、イノベーションの創出や東京の成長を支える人材の育成に資する新たな取組を推進している。

今後、先端技術の発展や人口減少、国際的な人材獲得競争の激化など法人を取り巻く環境が変化し続ける中、中期計画をより高いレベルで達成していくためには、法人として将来を展望し、取組の道筋や目標を明らかにしつつ、状況に応じて柔軟に取組を修正・強化していくことが望まれる。